

2019 年度

韓国留学報告書

実習先：慶熙大学

実習期間：8月31日（土）～12月26日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018081
中島 陽菜

目次

1. 留学先及び実習期間	2
2. 留学先概要	2
3. 留学の目的	3
4. 留学のスケジュールと詳細	3
4-1 留学のスケジュール	3
4-2 留学の詳細	7
5. 当初目的・目標への達成度に対する自己評価	8
6. 反省・課題	8
祝辞	8
付録（留学記録）	8

1 留学先及び実習期間

研修先：慶熙大学 国際教育院

研修期間：令和元年 8 月 31 日（土）～令和元年 12 月 26 日（木）

2 留学先概要

(1)大学について

1949 年に創立された韓国の国際化をリードする私立大学であり、ソウルキャンパス、カンヌンキャンパス、スウォンキャンパスの 3 つのキャンパスがある。世界 78 か国、500 校以上の大学と提携を結んでおり、たくさんの留学生を受け入れている。そのため、留学生に対して手厚いサポートを備えている。

(2)国際教育院について

慶熙大学国際教育院は韓国 1 の韓国語・外国語の専門教育機関と言われている。特徴として「韓国語トウミ（チューター）制」という制度があり、留学生と慶熙大学の学生がマンツーマンになって韓国語の指導や留學生活の手助けをしてくれるので、韓国語の上達以外にも文化や流行なども学ぶことができる。

1 クラス 15 人前後で形成されており、初級 1 から上級 2 までの 6 つのクラスにレベル分けされる。大学独自の教材で話す・聞く・読む・書くという 4 つの項目をバランスよく学習できる。

また、世界中から留学生が集まっているので日本人にはない感性や文化などを学ぶことができる。

3 留学の目的

今回の留学の目的は韓国語の上達はもちろん、実際に現地での生活を通して何か吸収したいということであった。個人的に日本での韓国語の学習では特にリスニング力が弱いと感じていたため、現地の人と関わる中でリスニング力の向上を目指した。

また、海外での生活の中で自分の人生の視野を広げたいということも目的の 1 つであった。

4 留学のスケジュールと詳細

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月日 (曜日)	午前	午後
8月31日(土)	出国	到着、入寮
9月1日(日)		
2日(月)	オリエンテーション、学力テスト	
3日(火)	韓国語授業	セミナー
4日(水)	韓国語授業	特講
5日(木)	現地学習	現地学習
6日(金)	韓国語授業	
7日(土)		
8日(日)		
9日(月)	韓国語授業	映像韓国語
10日(火)	韓国語授業	セミナー
11日(水)	韓国語授業	特講
12日(木)	チュソク	
13日(金)		
14日(土)		
15日(日)		
16日(月)	韓国語授業	映像韓国語
17日(火)	韓国語授業	セミナー
18日(水)	韓国語授業	特講
19日(木)	現地学習	現地学習
20日(金)	韓国語授業	
21日(土)		
22日(日)		
23日(月)	韓国語授業	映像韓国語
24日(火)	韓国語授業	特講
25日(水)	韓国語授業	セミナー
26日(木)	韓国語授業	韓国の歌
27日(金)	韓国語授業	
28日(土)		
29日(日)		
30日(月)	秋学期説明会	
10月1日(火)	韓国語授業	セミナー

2日(水)	韓国語授業	特講
3日(木)		
4日(金)	韓国語授業	
5日(土)		
6日(日)		
7日(月)	韓国語授業	映像韓国語
8日(火)	韓国語授業	セミナー
9日(水)		
10日(木)	韓国語授業	韓国の歌
11日(金)	韓国語授業	筆記大会
12日(土)		
13日(日)		
14日(月)	韓国語授業	映像韓国語
15日(火)	韓国語授業	セミナー
16日(水)	韓国語授業	特講
17日(木)	韓国語授業	韓国の歌
18日(金)	韓国語授業	
19日(土)		
20日(日)		
21日(月)	韓国語授業	映像韓国語
22日(火)	韓国語授業	セミナー
23日(水)	韓国語授業	特講
24日(木)	韓国語授業	韓国の歌
25日(金)	韓国語授業	
26日(土)		
27日(日)		
28日(月)	韓国語授業	映像韓国語
29日(火)	韓国語授業	セミナー
30日(水)	韓国語授業	特講
31日(木)	韓国語授業	韓国の歌
11月1日(金)	韓国語授業	
2日(土)		
3日(日)		
4日(月)	韓国語授業	映像韓国語
5日(火)	中間考査	

6日(水)	中間考査	
7日(木)	韓国語授業	韓国の歌
8日(金)	韓国語授業	
9日(土)		
10日(日)		
11日(月)	現地学習	現地学習
12日(火)	韓国語授業	セミナー
13日(水)	韓国語授業	特講
14日(木)	韓国語授業	韓国の歌
15日(金)	韓国語授業	
16日(土)		
17日(日)		
18日(月)	韓国語授業	映像韓国語
19日(火)	韓国語授業	セミナー
20日(水)	韓国語授業	特講
21日(木)	韓国語授業	韓国の歌
22日(金)	韓国語授業	
23日(土)		
24日(日)		
25日(月)	韓国語授業	映像韓国語
26日(火)	韓国語授業	セミナー
27日(水)	韓国語授業	特講
28日(木)	韓国語授業	韓国の歌
29日(金)	韓国語授業	
30日(土)		
12月1日(日)		
2日(月)	韓国語授業	映像韓国語
3日(火)	韓国語授業	セミナー
4日(水)	韓国語授業	
5日(木)	期末考査	
6日(金)	期末考査	
7日(土)		
8日(日)		
9日(月)	韓国語授業	映像韓国語
10日(火)	韓国語授業	セミナー

11日(水)	修了式	特講
12日(木)	Topic 試験対策	韓国の歌
13日(金)	Topic 試験対策	
14日(土)		
15日(日)		
16日(月)	Topic 試験対策	映像韓国語
17日(火)	Topic 試験対策	セミナー
18日(水)	Topic 試験対策	特講
19日(木)		修了式 (nuis の学生のみ)
20日(金)	自由研修	
21日(土)		
22日(日)		
23日(月)		
24日(火)		
25日(水)		
26日(木)	帰国	

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)韓国語の授業

文法・読み・書き・話す・聞き取りの5つの技能の授業を日替わりで基礎から学ぶことができる。

宿題がほぼ毎日出る。

ii)映像韓国語

毎週月曜日の午後に行われる授業。前半は韓国ドラマをみてグループに分かれ、自分たちで演じる。後半はグループごとに話し合いをしてドラマを制作する。

iii)セミナー

毎週火曜日の午後に行われる授業。前半は単語の小テスト、後半は日韓の文化の違いについて発表する準備をする。発表はグループに分かれて資料集めから発表まで協力して行う。授業以外にも集まって話し合わなくてはならない。

iv)韓国の歌

毎週木曜日の午後に行われる授業。グループごとに1曲選択して歌詞・歌手などについて調べ、発表する。発表の際はみんなで歌って簡単に歌詞について考える。

v) 現地学習

現地学習ではロッテワールドアドベンチャー・アクアリウム、国立博物館、ソウルタワー、南怡島へ行った。

vi) 中間・期末考査

文法、読み、書き、話し、聞き取りの5科目の試験を受け、話す試験では先生と1対1で先生からの質問に答えるものと、クラスの人とペアになって1つのテーマに沿って会話を作り、先生とクラスの前で発表する。

viii) topic 試験対策

nuis の生徒のみで行われ、topic の過去問題を解き先生に解説していただくという授業。

ix) 自由研修

修了式終了後、1週間弱の自由研修の時間があった。そこでは各自、自由な時間を過ごした。

5 当初目的・目標への達成度に対する自己評価

留学前の目的であった韓国語の力は、日ごろの授業や生活していく中で向上したと感じた。それを実感したのはトウミと交流している時である。はじめは、トウミが話していることを聞き取ることに精一杯で、自分の思い通りに質問に答えることができなかった。しかし、留学後半になるにつれてトウミが話していることを徐々に聞き取れるようになっていった。聞き取れるようになると自信がつき、自分からも進んで質問できるようになっていった。

また、海外での生活の中で自分の人生の視野を広げるという部分では、留学前の自分では思いつかなかっただろう考え方や、文化の違いを直に感じる事ができた。これらの経験はこれから先に役立つだろう。

6 反省・課題

トウミやクラスメイトともっと交流を図るべきであったと感じた。自分から韓国語を使う機会を増やせばもっと韓国語を上達させることができたのではないだろうか。この経験をこれから先に活かしていきたい。

祝辞

今回の韓国留学に携わってくださったすべての皆様に深く感謝申し上げます。皆様のおかげで大変充実した留学生活を送ることができ、貴重な体験をすることができました。留学を通して経験したことは一生忘れることはないでしょう。ありがとうございました。

付録（留学記録）

1. 生活面について

- ・私が生活面で感じたことは、留学前にはそこまで仲良くなかった人と協力して生活していかななくてはならないため、とても仲が深まった。
- ・住んでいた寄宿舎は最寄り駅と学校の間であり、とても便利であった。飲食店やカフェもたくさんあるので特に不自由したことはなかった。
- ・何か困ったことがあったら日本語ができる先生がいるのですぐに相談することができる。

2. トウミ（チューター制）について

- ・韓国語の授業で理解できなかったことをトウミに聞いたり、生活面や文化の面で疑問に思ったことなどを質問したりした。
- ・日本語ができるトウミもいるが日本語ができないトウミもいる。どちらになるかはトウミが発表されるまでわからなかった。
- ・トウミは基本的に1週間に1回、1時間程度会ってカフェや飲食店などでお話ししたり勉強の手伝いをしていただいた。

